

( 令和3 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市上京 ) 児 童 館

活動名	実施回数	参 加 人 数											合計	内 容	成 果 と 課 題
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア						
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
児童館探求ツアー	1	0	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	22	新1年生を迎え、上級生の子どもたちが児童館の敷地内を案内しながら、おもちゃの使い方や児童館でのルールを紹介する。	児童館を紹介するにあたって、子どもたち同士で話し合うことで1年生だけでなく他児童もルール等を再確認、共通認識することができた。
けんだマスターズ	35	0	12	173	2	8	0	0	0	0	0	0	195	幼児さん～対象のけん玉クラブ。級があがるごとに認定証を発行し、渡す。またもしかめタイムを作り、音楽を1曲流す間もしかめが何回続くか挑戦する。(コロナによる児童館事業休止8回)	認定証をもらえることを励みに頑張っていた。級があがるごとに難しくなるが、仲間とめげずにチャレンジし、切磋琢磨する姿が見られた。また今年は発表の場を設けることができ、子どもたちにとってもよい経験をつむことができた。
タタタッキー	20	19	46	93	6	23	0	23	0	0	0	0	210	小学生でも使用しやすい低い台を出し、計2台の卓球台を使用し、卓球の練習やミニ試合を行う。王さんゲーム方式という児童館卓球のルールのもと、自分たちで順番を守ったり、教え合うしかけづくりをおこなっている。(コロナによる児童館事業休止8回)	今年度は感染拡大防止対策のため、2部制とした。自由来館児や親子での参加もあり、参加者みんな楽しんでくれた。また子ども同士でアドバイスし合う姿もみられ、できた時は共に喜び、相手への思いやりを学ぶことができた。
パズちゃれ	30	0	0	227	0	38	0	0	0	0	0	0	265	一筆書きやナンプレ・推理パズルなど脳トレの要素を含んだパズルを楽しむ。低学年には迷路や点つなぎにチャレンジし、長い時間座って取組めるような工夫を促す。(コロナによる児童館事業休止7回)	参加児童同士、一定の距離を保ちながら、集中して取り組むことができた。取り組んだものを室内掲示すると、色塗りなどをして丁寧に仕上げていた。
中高生よってこパーク	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中高生を対象にした集いの場。(コロナによる児童館事業休止7回)	今年度も新型コロナウイルス拡大防止において自粛や休館の措置もあったとはいえ、参加がなかったが、それ以外での利用はあるため、今後も中高生の居場所として提供していきたい。
七夕かざりをつくろう	4	0	4	57	0	1	0	0	0	0	0	0	62	笹飾りへ向け、飾りを製作する。従来は1Fの老人福祉センターの利用者さんと共に製作をするが、今年度は感染拡大防止のため各々で取り組む。	みんな積極的に飾りを製作し、それぞれの願いを込めた短冊も書き、季節行事を楽しめた。
笹かざりをしよう	1	0	0	17	0	1	0	0	0	0	0	0	18	みんなで製作をした七夕かざりを笹に飾る。笹は児童館の他、上京警察署や上京消防署に寄贈する。	昨年度は子どもたちが警察署へ笹を届けたが、今年は感染拡大防止の寒天から職員が届けることとなった。子どもたちは交通安全への願いをこめた短冊や飾りをつけることができた。
みんなであそび隊	8	0	0	7	3	15	0	0	0	0	0	0	25	じどうかんだよりで広報を行い、「みんなあそび」の内容を決め、当日までに準備をおこなう。(コロナによる児童館事業休止3回)	上級生が中心に集まり、みんなあそびを企画。下級生のことを思いやりながら、ルールを決めている姿もみられ、みんなが楽しめるよう考えられていた。
みんなであそび	9	0	36	122	3	25	1	0	0	0	0	0	187	「みんなであそび隊」のメンバーが企画した内容を学童クラブ児童と自由来館児童と共に遊ぶ。(コロナによる児童館事業休止3回)	集団あそびの苦手な児童もいたが、様子を見てから参加したり、応援にまわるなど無理強いすることなく、それぞれの形で参加することができた。

基  
本  
活  
動  
機  
能

( 令和3 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市上京 ) 児 童 館

活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計			
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
上京マーケット実行委員会	1	0	0	4	0	6	0	0	0	0	0	10	じどうかんだよりにて実行委員を募り、商品の看板づくりや陳列、お店当番の役割を考える。	本番は4部制としたため、時間も長かったが実行委員たちは準備から片付けまでしっかりやり遂げることができた。	
上京マーケット	1	19	4	32	6	7	0	20	0	0	0	88	おやつのおみせやさんごっこ。おみせやさんを実行委員が務め、チケット100円分を使い各自おやつのお買い物を楽しむ。感染防止のためおやつはすべて持ち帰りとした。	8月に予定していたが、緊急事態宣言発令のため延期となる。時間・申込制をとったため、混雑もなくスムーズに行えた。参加した幼児さん親子にも好評だった。	
くろねこをさがせ	4	0	0	160	0	23	0	0	0	0	0	183	館内にかくれたくろねこをすべて探すハロウィン企画。何匹いたかを最終日に発表する。	簡単な企画だが、子どもたちは毎日必死になってくろねこ探しをしてハロウィン行事を楽しんだ。	
上京児童館おたんじょう会	1	20	5	31	7	5	0	62	0	0	1	131	児童館の誕生日11月にお誕生会を開き、児童館を支えて下さる利用者のみなさん、地域のみなさんとゲームコーナーやガラガラ抽選会を用意し、楽しいひと時を過ごす。	乳幼児から大人の方までたくさんの参加があった。分散できるよう館内、館庭、階段下とコーナー展開した。若干混雑した時間もあったが、場所いどうや誘導することで対処することができた。子どもたちも何度もゲームコーナーにチャレンジし、児童館イベントを楽しんでいた。	
大そうじ	1	0	0	30	0	6	0	0	0	0	0	36	自由来館児童にもよびかけ、グループごとに掃除する担当をわけえ児童館を大掃除する。	学童児が中心だったが、掃除を通して、普段からきれいに使いたいという意識付けになった。	
合 計	128	58	109	973	27	158	1	105	0	0	1	1432			
推 進 活 動															
	合 計														
子ども育成機能 合 計	128	58	109	973	27	158	1	105	0	0	1	1432			

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること  
 推進活動は、指針に基づき(9)エコ活動(10)地域を知る活動(11)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

( 令和3 ) 年度 児童館事業年間活動報告書 ( 京都市上京 ) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数						合計	内容	成果と課題		
			乳幼児	小1～3年	小4～6年	中学生	大人	ボランティア					
子育て 家庭 支 援 活 動	ボンボコリン	37	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	199	姉妹さん～0歳児親子さん対象の随時入会登録制クラブ。 時間は10時30分～11時30分まで、11時頃より職員が入り、自己紹介、テーマトーク、ふれあいあそびなどを行う。今年度も引き続き感染症拡大防止対策として、月1ヨガやボールプールの設置を中止とした。 (コロナによる児童館事業)	コロナ禍で外に出ることを自粛されていた親子さんも少しずつ外にでて来てくださるようになり、利用者数が大幅に増え	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	あそびの広場	38	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	248	乳幼児親子を対象とした自由あそびの広場。不定期に設定あそびの日を入れ、季節にあわせた製作や行事などを入れ、楽しんだ。 (コロナによる児童館事業休止14回)	新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら、コーナーあそびができるよう場所をわける工夫をして行う。	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	☆の日 (子育てほっと広場)	73	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	237	広場やクラブがない日、またクラブが自由あそびの日を特に乳幼児親子が遊びやすい日として設定し遊戯室を自由開放している。 (コロナによる児童館事業休止21回)	多くの施設において事前予約制をとるところが多かったため、自由に参加できる場を探して来館す	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	幼児クラブ	27	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	197	1歳児以上親子対象の登録制の幼児クラブ。お友達と一緒に楽しく遊んだり、保護者同士の交流も図る。体操や手遊び、季節の行事や工作などの設定あそびをみんなで楽しむ。 (コロナによる児童館事業休止7回)	このコロナ禍のなかでなかなか保護者同士のつながりが構築できなかったところを内容の工夫と職員の日々の寄り添いでつなげる努力をした。	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	ハンドメイドタイム	10	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	2	保護者のリフレッシュを目的に手芸などのハンドメイドを楽しむ。 (コロナによる児童館事業休止3回)	コロナ感染拡大のため、活動を自粛されている方が多かった印象を受ける。今年度も引き続きランチタイムもなかったことも要因の1つとなっている	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	ははおやクラブ	10	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	9	月1～2回程度の活動。児童館でつながった母親同士が集まり、児童館のために飾りやおもちゃを制作している。 (コロナによる児童館事業休止3回)	ハンドメイドタイムと同様、コロナ感染拡大のため、活動を自主的に自粛されておられた。	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	わいわいまる	9	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	62	自由あそびを中心にお友達と一緒に楽しく遊んだり、保護者同士の交流も図る場とする。職員とゆっくり話をするなど保護者のリフレッシュやレスパイトの場としている。 (コロナによる児童館事業休止2回)	コロナ禍による親子の閉塞感を少しでも和らげるよう、保護者の気持ちに寄り添い、子どもたちがのんびり安心して遊べる場を提供することができた。	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	ファミサポ登録会	0	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	0	従来はファミサポ支援事業の登録や講習等を対面で行う。登録会では地域リーダーの方に来てもらい、活動の様子やイベントを話してもらった機会をもっている。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集まっていた登録会ではなくDVD視聴による登録を中心とする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の策をとり、対面ではなく、DVD視聴による登録を紹介した。	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	ファミサポ講習会	1	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	0	従来はファミサポ支援事業の登録や講習等を対面で行う。登録会では地域リーダーの方に来てもらい、活動の様子やイベントを話してもらった機会をもっている。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集まっていた登録会ではなくDVD視聴による登録を中心とする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の策をとり、対面ではなく、DVD視聴による登録を紹介した。	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
子育て 家庭 支 援 活 動	ファミサポ提供会員面接	2	自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人	2	従来はファミサポ支援事業の登録や講習等を対面で行う。登録会では地域リーダーの方に来てもらい、活動の様子やイベントを話してもらった機会をもっている。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集まっていた登録会ではなくDVD視聴による登録を中心とする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の策をとり、対面ではなく、DVD視聴による登録を紹介した。	
			自由参加	学童クラブ	自由参加	学童クラブ	中学生	大学生	大人				
合計		207	485	0	0	0	6	462	0	0	3	956	
基本 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数	相 談 内 容		件数	つ ないだ機 関等		件数
		乳児 幼児	児童館にて直接受理 児童相談所	小1～3年(学童)	小1～3年(学童)	小4～6年(学童)	小4～6年(学童)	中学生 高校生	子どもはぐくみ室 主任児童委員 その他	健康育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他	1	児童相談所 子どもはぐくみ室 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他	
		件数 計	随時	-				-			-		
基本 活 動	(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題		
		ハンドメイドタイム		ハンドメイドを入口にして、新たに参加した保護者の方々も交えて子育て情報の交換や悩みの共有等を行う。	職員も入ることで参加者との関係を深め、会話の中から支援につなげていく。自分の趣味の時間もとってもらいながら、職員とゆっくり話をするなどリフレッシュの場としている。	職員も入ることで参加者との関係を深め、会話の中から支援につなげていく。自分の趣味の時間もとってもらいながら、職員とゆっくり話をするなどリフレッシュの場としている。	今年度もコロナ禍のため活動につながるランチタイムの中止としたため、参加者の獲得が難しくかった。						
推 進 活 動	(5)子育てで健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題					
		児童館での子育て活動の啓発	随時	「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」とごみ袋を引き換えに来られた保護者に児童館を広報するチラシ等(「じどうかんだより」や行事のチラシなど)を配布することで「児童館・子育てほっと広場」や学童クラブ事業などについて広く周知し、児童館の利用促進につなげる。	ごみ袋を引き換えに児童館に来られたことがきっかけで、後日来館する乳幼児親子もいた。今後も、「また遊びに行きたいな」と思ってもらえるような対応を継続することが必要。								
		民生児童委員への子育て活動参加の啓発	12	日常の様子や取組を「じどうかんだより」を通じて紹介し、子どもにかかわる活動への情報をお伝えすると共に、情報の共有を図る。	今年度も感染拡大対策のため、児童館での乳幼児親子との交流の機会がなかったが、地域の子育て家庭についての情報交換を図ってきたい。								
		リサイクル回収週間	71	エコ活動の1つとして、毎月1週間程度(16日を含む週)館内に「回収ボックスを置き、リサイクル品を回収する。京都市環境政策局 北部まち美化事務所・上京エコまちステーションの活動に協力している。(コロナによる児童館事業休止17回)	普段児童館を利用しておられない地域の方もたよりを見て児童館に足を運んでくださっている。								



( 令和3 ) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市上京 ) 児 童 館

地 域	基 本 社 会 活 動 機 能	(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題
			翔鸞住民福祉協議会 仁和福祉団体連合会 仁和学区社会福祉協議会 仁和子育て部会 翔鸞自治連合会 翔鸞民生委員児童委員協議会 仁和民生委員児童委員協議会 上京少年補導委員会翔鸞支部 仁和老人クラブ 翔鸞老人クラブ 翔鸞小学校 仁和小学校 衣笠小学校 衣笠中学校 北野保育園 翔鸞幼稚園 鶴山保育所 じゅらく保育所 薬只保育所 おひさまルーム ガイアトル学園洛星中学校高等学校 上京子どもはぐくみ室 北区子どもはぐくみ室 上京消防署北野出張所 上京警察署 北野天満宮 上京区社協・上京老人福祉センター・上京老人デイサービスセンター・仁和老人デイサービスセンター・仁和地域包括支援センター・出水老人デイサービスセンター・出水ケアプランセンター	地域回覧やチラシ配布・児童館運営協議協力会への参加など 地域回覧や施設のおまつりなどのチラシ配布・お手伝い・児童館運営協力会への参加など 地域回覧やチラシ配布・仁和わくわくサロンでの連携・児童館運営協力会への参加など 地域回覧や施設のおまつりなどのチラシ配布・お手伝い、学区民運動会や総会への参加など 行事への参加や赤ちゃん事業でのお手伝い・児童館運営協議協力会への参加など 行事への参加や赤ちゃん事業でのお手伝い・児童館運営協力会への参加など おたより配布・児童館運営協議協力会への参加など おたより配布、他 おたより配布、ステーション事業への協力他 お便りを全校児童配布・児童館運営協議協力会への参加など お便りを全校児童配布 お便りを配布 ステーション事業への参画 お便り配布、ステーション事業への参画 おたより配布、ステーション事業への参画 幼稚園で地域住民対象に行っている花の苗屋さんに参加させていただいた。 お便り交換。2ヶ月に1回乳児クラブに保育所の先生が参加して下さった。また、ドリームチルドレンや上京区主催事業での連携など。 おたより交換。イベントのチラシ配布 おたより交換。 おたより交換。 お便り配布。中高生と赤ちゃんとの交流事業では事前会議を持ち共催事業として行っている。 お便り交換、イベントのチラシ設置。乳幼児保護者への育児支援や情報交換。 お便りやイベントのチラシ設置 七夕の笹寄贈や見学。避難訓練、防災訓練等で消防等に関する講話。 幼児クラブでのセーフティ。学童クラブの交通安全教室。七夕の笹寄贈や見学。夏休みの交通安全指導など。 七夕祭りへの参加、ステーション事業への参画 上京区内社協事業所協働事業担当者会議として毎月1回会議を持ち、地域のまつり(上京区民ふれあいまつり)に参加したり、研修などを行う。	地域回覧をの配布を始め、団体主催の事業に参加することで様々な場面で連携を深めている。 今年度は様々な事業が中止となり、顔合わせをする機会も減ったが、今後も関係を築いていきたい。 住民への児童館及び学童クラブの理解をより深めていくことが課題。 住民への児童館及び学童クラブの理解をより深めていくことが課題。 住民への児童館及び学童クラブの理解をより深めていくことが課題。 学童クラブ登録児童・自由来館児童の情報交換、学校行事への参加・協力等を積極的に行い、より連携を深めていきたい。 児童館及び学童クラブの理解をより深めていくことが課題。 児童館及び学童クラブの理解をより深めていくことが課題。 はぐくみ室の乳児健診の親子見守りや上京区の事業等、定期的に連携している。 おたより交換に加えて、幼児クラブに登録している親子の情報交換なども行っていきたい。 赤ちゃん事業を授業の一環として行う。七夕の笹を頂いたり、赤ちゃん事業以外の場面でも連携を図っている。 お便り配布だけではなく、別事業でも連携を図る。 お便り配布だけでなく情報交換を行ってきたい。 避難訓練・防災訓練等、積極的に連携を深めていきたい。 今年度は見送った事業もあったが、今後も地域の子どもの安全を守るために、より連携を深めていきたい。 今後も地域の方々や団体と積極的に交流してきたい。 社協事業所として協働することで職員同士のつながりやお互いの事業所への興味も広がり、自身の仕事への見方も変わり幅も広がるので、今後も継続していきたい。

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称	構成団体・個人	会議/取組頻度	議題/取組内容	成果と課題
			翔鸞上京児童館運営協議協力会	翔鸞住民福祉協議会、翔鸞民生委員児童委員協議会、上京少年補導委員会翔鸞支部、翔鸞小学校		児童館利用者アンケートを元に認知の低い設問に関してご意見をいただいたり、児童館運営がよりよく活動できるよう助言いただく	※感染症拡大防止のため今年度中止 利用者アンケート、事業報告を配布する
			仁和上京児童館運営協力会	仁和福祉団体連合会、仁和民生児童委員部会、仁和子育て支援部会、上京区地域交通安全活動推進委員		児童館利用者アンケートを元に認知の低い設問に関してご意見をいただいたり、児童館運営がよりよく活動できるよう助言いただく	※感染症拡大防止のため今年度中止
			仁和学区成人式 仁和子育て部会総会 仁和老人クラブ総会出席 翔鸞幼稚園苗屋さん事業出席 翔鸞自治連合会総会 仁和会食会 仁和敬老会				
			翔鸞ふれあいまつり実行委員会	翔鸞小学校、住民福祉協議会、自治連合会、小学校PTA、民生児童委員会、少年補導委員会、教育講演会、老人クラブ 体育振興会、消防分団、自主防災会、老人福祉員、翔鸞幼稚園 衣笠中学校、おやじの会、児童公園愛護委員会、保健協議会 身障会、保護司会、ふれあい活動推進事業委員会		実行委員会への参加及び まつりコーナー参加	※感染症拡大防止のため今年度中止
			上京の子どもまつり実行委員会	上京民生児童委員会、上京保健協議会連合会、上京区社会福祉協議会、上京少年補導委員会、上京区保育園長会、私立幼稚園 上京地区園長会、公立幼稚園長会、小学校長会上京支部、中学校 校長会北・上京支部、上京東部医師会、西陣医師会、上京歯科 医師会、上京母子寡婦福祉会、上京警察署、上京区老人クラブ 連合会、小学校PTA連絡協議会上京支部、中学校PTA連絡協議会 北・上京支部、京都手をつなぐ育成会上京支部、上京区内特定 郵便局、(社)京都市児童館学童連盟、京都市児童福祉センター 上京まち美化事務所、上京消防署、上京保健所、上京福祉事務 所		実行委員会への参加及び まつりコーナー参加	※感染症拡大防止のため今年度中止
			上京区‘ぎゅうっと’広場運営委員会(ドリームチルドレン)	上京区役所、上京子どもはぐくみ室、上京民生児童委員会、 児童母子部会、市立幼稚園上京地区園長会、公立幼稚園、 鶴山保育所、上京区社会福祉協議会、室町児童館、西陣児童館、上京児 童館		上京区の乳幼児親子対象に毎 月各種団体が企画し事業を行 う	※感染症拡大防止のため今年度中止
			上京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会	西陣体育振興会、京都市地域女性連合会、上京更生保護女性会、京都市 PTA連絡協議会、上京区交通安全会連合会、京都市ネットワーク少年団、日本 が〜(外)京都連盟、京都府ワカ〜協議会、京都市幼稚園PTA協議会、京 都市少年補導委員会、上京少年補導委員会、上京保護司会、室町児童 館、芝生マ〜京都、西陣児童館、上京区役所子どもはぐくみ室、京都市 地域づくり推進課		実行委員会への参加及び 『ほっこりニコニコと〜きん ぐ』等の行事企画・運営協力	※感染症拡大防止のため今年度中止
			翔鸞地域子育て支援ステーションネットワーク	翔鸞民生委員児童委員協議会、北野保育園		ステーション事業の検討、運営。 地域課題への話し合い。	ステーション事業を行えたことで、地域内の 子育て支援施設との連携が深まった。
推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	
		印刷機		おたより印刷	上京老人福祉センター 翔鸞老人クラブ	地域の方に児童館を知っていただくことにつながっている	
	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
児童館利用者アンケート		利用者の意見を聞き、より利用しやすい児童館の運営や活動に生かす。	児童館利用者	京都市社会福祉協議会	配布、後日記入・回収	今後の施設運営についての改善すべき点が改めてわかった。	

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広	じどうかんだより	毎月1回	①市社協・第1ブロックの児童館 ②仁和・翔鸞学区 ③仁和・翔鸞・衣笠小学校 ④上京・北区子どもはぐくみ室 ⑤仁和・翔鸞民生児童委員 ⑥仁和・翔鸞老人クラブ ⑦仁和・翔鸞地域役員 ⑧翔鸞幼稚園・北野保育園 ⑨鶴山・じゅらく・楽只保育所 ⑩洛星中学校・高等学校 ⑪仁和・翔鸞小学校全教諭 ⑫乳幼児・学童クラブ保護者	①配布・館内受付に設置 ②町内回覧 ③各クラス掲示・ポスター掲示 ④～⑨配布  ⑩ポスター掲示 ⑪配布 ⑫配布	児童館事業の紹介 行事の案内 行事参加募集	地域住民の方に児童館を知っていただく機会となっている。回覧や配布をお願いすることで繋がりもできている。
	じどうかんだより (小学生版)	毎月1回	仁和・翔鸞小学校全校児童	小学校にて配布	行事の案内	利用者票や申込書をおたよりにつける工夫をした。今後も来館しやすい取組を入れ、利用に繋げたい。
	各行事のチラシ・ポスター	適宜	仁和・翔鸞学区、児童館利用者	おたよりと一緒に回覧 館内受付に設置	各種行事や子育て講演会などの案内	カラーのポスターやチラシを置くことで、行事に興味を持ってもらうことができた。設置場所として近隣施設など増やす等して地域に周知できるようにしたい。
	ピよボンだより	毎月1回	登録制乳幼児クラブ保護者	クラブ時に配布	各クラブの予定、持ち物等	3クラブの予定や様子、年齢ごとの成長発達等もわかる紙面作りをしていきたい。
	児童館紹介	適宜	おまつり等行事参加者	各コーナー設置	児童館の紹介	コーナーに設置するだけでは手にとって頂くことが難しいので個別にお渡しする等したい。
	介助ボランティア募集	適宜	一般市民	配布	介助ボランティアの紹介・募集	京都市福祉ボランティアセンター発行の「ボランティアーズ京都」を随時利用
報	HP	毎月1回	一般市民	インターネット	行事各種の案内	
	リーフレット	適宜	利用者	各説明時に配布	児童館の紹介	
	児童館掲示板	適宜	一般市民	掲示	児童館の紹介、行事各種の案内掲示	
活						
動						

( 令和3 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 05 上京 ) 児童館

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援 助 機 能	安全・衛生の確保	・出席確認、健康観察	・連絡帳、電話、などで事前の出欠連絡を入れて頂くよう、保護者の方には協力依頼を行う。連絡を受けたら口頭伝達と記録に残して職員間の情報共有を図る。所在のわからない児童は各小学校、保護者に連絡をとるなどして出席確認の徹底を行う。連絡漏れの多い家庭にはその都度事前連絡がほしいことを伝え、引き続き保護者にも徹底をお願いする。
		・コース帰宅	・「集団」という概念ではなく、同じコースのお友だちと複数名で帰る方法をとっている。下館時の気になる様子を目にしたたり保護者からの連絡があった時などはその都度個別及び全体指導をおこなっている。
	健康の管理・情緒の安定	・手洗い・うがい・消毒の習慣	・帰館時、おやつ前や外遊び後など、職員の声かけにより手洗いをする様子が見られる。コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒の声かけをこれまで以上に行った。ハンカチを持っていない子もあり、子どもだけでなく保護者の意識も高めてもらえるよう、今後もおたよりや懇談会で伝えていく。
		・整理整頓・片づけ	・自分の荷物の管理やロッカーの整理整頓は少しずつできるようになってきている。しかし、片付けをせず、玩具が見当たらない、出したままになっている様子が目立った。自立の第一歩として身辺自立の確立を目指し、個別の声かけを積み重ねながら、片付けや整理整頓を習慣づけていく必要がある。
	基本的生活習慣の確立	・あいさつの励行	・自ら挨拶をすることができていない様子がある。挨拶すると挨拶できる子がほとんどのため、挨拶の大切さを引き続き伝えていく必要がある。挨拶することで互いに気持ちよく生活できることを年間通して話してきた。また防犯面からも普段から声を出すことの必要性を伝えている。挨拶には「ありがとう」「ごめんね」も含まれていることも加えて伝え、日常の中に挨拶があふれるよう指導していく。
		・おやつ、お弁当の後片付け	・ふきん、ゴミの後始末、机の出し入れ等、自分たちで行った。職員の手伝いも自ら進んでやる様子もあった。
	社会生活技術の獲得	・学習時間の確保	・平日17:00～17:30(30分間)、学校休業日は9:00～朝学習(45分間)の時間を確保した。学校長期休業中は人数も増えるため遊戯室を朝学習のスペースとして、集中できる環境づくりを行う。
		・連絡帳の提出	・連絡帳、袋の提出方法を保護者からの記述や提出物があるひと(○)とないひと(×)に分け、引き続チェックの迅速化を図る。出席シールの種類を増やし、毎日自分で貼ることを楽しみにつなげ、提出の効果を上げることができた。1年生に関しては、提出間違いもあるので保護者への声かけと併せて職員の確認も徹底していきたい。何日か忘れてくる子もあり、その都度連絡帳持参の重要性について説明し、持参を促している。
		・おやつ、スペシャルおやつ	・主に生協で注文。おやつ代を調整し、イベント時に特別なおやつを用意。食べ方や座り方、食事のマナーなど、定着するよう継続して声掛けをしていく。コロナ禍の為、育成室でのみ最大15人、1人1台机を用意し正面を向き黙食をする同士で教えあったり仲間づくりへと発展させている。

( 令和3 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 05 上京 ) 児童館

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
子ども育成機能	生活体験の拡大	・お誕生会	・“1年に1度だけのそれぞれのお誕生日をお祝いしてあげる気持ち”を大切に持って行った。例年は月に1日日を設けて2年生が実行委員として司会進行を行い皆でスペシャルおやつを食べたり出し物でお祝いしたりしたが、今年は三密を避ける為、それぞれのお誕生日に、お帰りの会でお誕生日クイズや保護者からのメッセージを読んだ。例年より規模は小さいが1人1人がフューチャーされ温かい時間を共有することができた。
		・入会のお祝い	・例年は遊戯室にて新入会生を迎える会として保護者や地域役員の方に参列いただき、在館生からもお祝いの言葉や発表等をして児童館の一員となる節目の会として実施してきたが今年度は、コロナウイルス感染防止の為、館庭にてセレモニーを実施。上級生は、メダルや記念品渡し、お祝いの言葉、エスコートなど学年で役割分担を担い歓迎の気持ちを伝えた。
		・児童館探検ツアー及び実行委員会	・児童館の各教室や手洗い場、トイレ等の使い方を3年生が新入会生に教える行事だが今年は、コロナウイルス感染拡大防止の為中止とした。
		・季節行事	・七夕やハロウィン、お正月あそびなど季節行事として楽しむ。コロナ禍の為、密にならない設定をし取り組む工夫をする。
		・お弁当いらないデー	・例年、働く保護者の負担軽減と1つ釜の飯を楽しく食べる経験の為実施している行事だが今年はコロナウイルス感染拡大防止の為中止とした。
		・学校代休日保育	・例年各学校の代休日にはお出掛けをしているが、今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為中止とした。
		・夏のおでかけ	・例年夏ごろに館外に出掛け縦割りの活動をすることで集団の中での各自の役割に気付き下半期の成長の糧にしてもらいたいとの思いや、館外でしか学べない事の提供と思い計画してきたが、コロナウイルス感染拡大防止の為中止とした。
	社会性の養成	・わいわまつりへの取組	・コロナ感染症防止対策のためまつり中止。
		・デイサービスセンターとの交流	コロナ感染症対策防止のため見合わせ。
		・仁和学区子育てサロンとの交流	・地域の方々に地域子ども達や児童館を知ってもらうきっかけ作りとして設けたがコロナウイルス感染拡大防止の為中止とした。
		・勤労感謝カード作り	お家の方が働いている、学童に来ている意味を理解し、日頃の感謝を形(カード)にして伝える企画。例年は、ご家庭の方を招き、お茶会を行ってきたが、コロナ感染症対策の為中止し、カードとティールックをセットしお家の方へプレゼントする企画と変えた。
		・新年度準備 プレゼントづくり「アイロンビーズ」	・来年度の入会記念品として新入会生用に渡すアイロンビーズづくりを行う。
		・みんなあそび、あそび隊	・児童館来館のお友達を含むその日全員で遊ぶ日を設定、様々な年齢と様々な遊びを通して経験や遊びを重ねる。 ・みんなあそびは、子ども達が結成する「あそび隊」で企画、準備、運営を行う。
		・学年会議	各学年で相談や思いを伝えたり友達の意見を聞いたりしながら、自分たちができることを考え、実行する会議を実施。

( 令和3 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

<様式11-1>

( 05 上京 ) 児童館

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
子 ど も 育 成 機 能	自立の促進と自主性の尊重	・ 当番活動	・ 班ごとに1週間、おやつ準備・進行を行う。おやつ後の片付けを全員で行うことを条件とし、ゴミの片付けや各グループの片付けチェックも協力し行うよう取組んでいるが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とする。
		・ 班活動	・ 異年齢同士を組み合わせることにより、上下の関わりが多くなった。今後も班単位の活動や取り組みを増やしていき、学童クラブ独自の関わりを増やし、上級生は様々な部分でリーダーとしての意識付けを行いたい。
		・ クリスマス音楽隊演奏	例年クリスマスお楽しみ会を実施。出し物や運営について相談、準備、運営を行うが、今年度は一同会する場をコロナ感染症対策の為に中止。代替案として、屋外(商店街)にて地域の方に演奏をプレゼントする企画とした。有志が日常に練習し、披露。保護者や買い物途中の地域の方も足と止めてその姿を見守っていただけ。大きな拍手は子ども達の成果や満足を得るものとなった。
		・ 1年間ありがとうカフェの取組	・ 1年間のがんばりを保護者に向け発表し、成長に感謝する会を設定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とする。
子 育 て 支 援 機 能	子育てに必要な情報の提供と交換	・ 「がくどうっこ」発行 (月1回)	・ 学童クラブの行事や児童館の取組などを保護者に伝えた。発行したタイミングでお帰りの会で内容を子どもたちに伝え、子どもたちと一緒に行事の把握も増した。事前のチェックを怠らず、確実な情報を伝えていきたい。
	子育ての仲間づくり	・ 「わっはっは」発行 (月2回程度)	・ おやつメニューや子どもたちの取り組みの様子などを、写真を交えて保護者に伝えた。行事の後には特別号を発行し、行事での様子を細かく伝えることが出来た。後半につれ、発行ができないこともあったのは課題である。
		・ 保護者の保育参加	・ 夏休みや館外行事の際、1年に1回保護者の予定に合わせて保育に参加してもらう機会を設けている。日常の子どもたちの様子を知る機会となっているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。
	子育てを支えるネットワーク形成	・ 保護者懇談会	・ 例年通り4月、7月に実施予定だったが今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とする。
	・ 個人懇談	・ 新入会生、希望者対象に実施。希望される時間帯に懇談が出来るように時間を設定。4月からの子どもの様子を伝えたり、学校・家庭での様子を知る良い機会となっているが、今年度は希望者または、随時必要な家庭のみ行った。	
	・ 地域との連携	・ 地域の子ども達を地域の方々に知ってもらいたいとの思いであるもののコロナウイルス感染拡大防止の為中止とした。	
	・ 交通安全教室	・ 上京警察の方に協力していただき、安全な下館の仕方を学ぶ。5月に開催し生活に慣れが生じた子どもたちの意識にも働きかけた。	
	・ 統合育成	・ 障害のある、ないにかかわらず子どもたちが安心して過ごせる居場所を作り、子どもの特性にあった取組を行なっていきたい。フォローが必要な子も多く、他の子どもたちが理解に苦しむ場面も多かったが、子どもたち全員に伝わるような指示や声掛けを探し、職員間で統一しながら全ての子どもにやさしい学童クラブを目指す。お互いに適切な関係が図れるような援助を進めていきたい。	
	・ 多世代交流事業への参加・取り組み	・ 子ども達も、それぞれに役割を持ち活躍できる場を作ろうと思い計画したがコロナウイルス感染拡大防止の為中止とした。	

( 令和3 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 05 上 京 ) 児 童 館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人				
(1) 生活援助機能																
出欠確認・連絡帳・健康観察	毎日	3543	3949	1450	1645	113	111	0	0	0	0	0	0	0	10811	毎日連絡帳を提出するように声をかける。保護者との大切な連絡手段であることを認識してもらう。コロナ禍において毎日の検温、健康観察実施。
手洗い・うがい・消毒の励行	毎日	3543	3949	1450	1645	113	111	0	0	0	0	0	0	0	10811	帰館後、おやつ前後、外遊び後等に手洗い・うがいの声かけをする。また各自ハンカチ・タオルを持参、使用するよう促す。コロナ感染防止対策として徹底した声掛け強化。
遊具の使用・後片付け指導	毎日	3543	3949	1450	1645	113	111	0	0	0	0	0	0	0	10811	児童館のおもちゃや本を大切に使用することやあそびのルールを、職員だけでなく子どもたち同士でも確認し合う。
下館指導	毎日	3543	3949	1450	1645	113	111	0	0	0	0	0	0	0	10811	学校開始後2週間程度は職員が集団下館に付き添う。帰りの会等では、帰り方の確認や必要時には交通安全指導を行う。
(2) 子ども育成機能																
学年会議	2	0	32	19	20	2	1	0	0	0	0	0	0	0	74	進級し、1年生を迎えるにあたり、自身の目標と他者へのアプローチを考え、伝え合うと共に学年ごとの目標設定を見出す会議とした。
入会のお祝い	1	20	15	9	10	1	1	0	3	0	0	0	32	91	コロナ感染防止対策を講じ、屋外にて実施。一堂に会することが出来ないため、入学式後来館した新入生を各下九年ごとに役割分担し、お祝いの意を表す。(メダル渡し、記念品渡し、お祝いの言葉など)	
探検ツアー会議	1	0	0	8	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	19	児童館、学童のルールを新入生に伝えるための会議。
探検ツアープレゼンター	1	0	14	7	11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	33	探検ツアーで考えた内容をグループごとに提示。(階段門からの入館、事務室の入り方、育成室・遊戯室の使い方、おもちゃの使い方・片付け方、ゲームのルール説明等)
毎日のお誕生日会	40	578	645	257	265	17	18	0	0	0	0	0	0	0	1780	それぞれのお誕生日をお祝いすることで、一人一人を大切に作る気持ちを育む。保護者からのお祝いメッセージや自分クイズを披露することで個々をフューチャーする。
がくどうのみんなあそび	3	49	44	18	15	1	1	0	0	0	0	0	0	0	128	児童館行事にも「みんなあそび」を実施。が、あえて、学童クラブのみ行うことで学童の仲間意識を高める。
学童みんなで遊びたい	2	0	4	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	児童館事業「遊び隊」学童バージョン。対象者が絞れるため、イメージしやすい。
みんなおやつ、スペシャルおやつ	4	29	37	15	14	2	1	0	0	0	0	0	0	0	98	コロナ禍の為個食、黙食を徹底。そのなかでも、楽しめるようにピクニック気分が屋外のおやつタイムや平常より値の張るおやつ、個数の増加などスペシャル館を提供するなど工夫した。
警察署へ笹寄贈・交通安全教室	1	18	19	9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	55	七夕笹を上京警察に寄贈。その後、1年生に向け交通安全教室を開き、交通安全について指導してもらう。
笹飾りをつくろう	3	45	47	26	21	1	1	0	0	0	0	0	0	0	141	コロナ感染防止対策のため老人福祉センターやデイサービスセンター、地域の方と集い作成することが出来なかったが、館内にて気持ちを込めて制作。笹飾り作り、短冊に願いを綴る。
ハロウィン工作	5	23	20	5	6		0	0	0	0	0	0	0	0	54	ハロウィンおやつを袋を制作。画用紙で飾りを作り、部屋にも飾り楽しむことができた。
夏休み工作	2	28	37	15	21	2	2	0	0	0	0	0	0	0	105	夏休みだからこそ取り組める機会を利用して、エコ工作に取り組む。
勤労感謝カード作り	13	53	58	27	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	154	お家の方へ感謝の気持ちを伝えるためにカードにメッセージを書き、お家でほっこりティータイムを楽しんでもらえるようティーバックを添えて、プレゼントする。
クリスマス音楽隊練習	17	22	139	7	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	202	クリスマス演奏会(音楽隊)の発表に向けて、有志が練習。(ハンドベル、リコーダー、すず、鍵盤ハーモニカ)
クリスマス音楽隊	1	3	14	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	コロナ禍地域の方にクリスマスプレゼントを届けるため、商店街の一角をお借りして学童有志による演奏を実施。保護者や地域の方に足を止めてもらいひと時を楽しんでいただけた。
大掃除	1	15	11	4	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	36	日頃使用している児童館施設に感謝して一年の汚れを一掃することで、新しい年を迎える準備をする。とても熱心に掃除をする子ども達が印象的。
お正月あそびをしよう	8	96	116	28	46	3	3	0	0	0	0	0	0	0	292	新年を迎え、昔ながらの伝承遊びやお正月遊びを楽しむ。
林先生と版画体験	1	14	15	4	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	44	介助ボランティアの方政策の木版画をバランを使って印刷する経験をする。
修了記念贈呈の日	1	17	19	3	7		0	0	0	0	0	0	0	0	46	令和3年度を共に過ごした子ども達と思い出を振り返ると共に今年度修了(学年、学童、成長)した証を確認。次年度への励みに繋げる。
進級に向けた取り組み	4	107	109	26	42	3	7	0	0	0	0	0	0	0	294	自身は基より、新入生をむかえる準備を行う。

( 令和3 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 05 上 京 ) 児 童 館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人			
<子育て支援機能>															
第1回保護者懇談会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	37	コロナ感染症対策の為参加人数の制限、回数の増加等講じて実施。一回顔見世ができないため児童に対し「うちの子自慢」カードに記入いただき、学童登録児童のその子どもの様子を知ってもらう工夫を行った。参加保護者には、子ども達の様子をスライドショーにて伝え鑑賞を得る。
第2回保護者懇談会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	夏休み前に向けての提案。第1回同様。
個人懇談会	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	48	新入会児童の保護者との懇談。児童の様子、特性等保護者より傾聴。また、学童の様子を伝える。保護者との関係を深める機会となり、有効。
第3回保護者懇談会	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	45	一年間を通じての学童の様子や子ども達の成長を保護者と確認する機会とする。また、来年度継続家庭に対し、学童登録制度変更について説明を行う。
学童登録説明会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	28	令和4年度学童登録制度変更を伝えると共に、諸注意を伝達。
お弁当いらんデー	3	47	59	16	31	3	2	0	0	0	0	0	0	158	夏休みの毎日の昼食作りにおける保護者負担軽減と子ども達が同じものを食することで共存の気持ち高める機会とする。

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること  
 \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること

# 年間利用状況報告書

令和3(2021)年度

( 05 上京 ) 児童館・学童保育所

## 1 児童館事業

	乳幼児	小1~3年 自由来館	小4~6年 自由来館	中高生	大人	ボランティア			合計	開館日数	1日平均利用者数
						中高生	大学生	大人			
4月	15	11	12	0	58	0	0	0	96	25	3.8
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0
6月	29	11	3	0	30	0	0	0	73	26	2.8
7月	56	24	8	1	119	0	0	0	208	25	8.3
8月	18	12	8	0	22	0	1	0	61	25	2.4
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0
10月	127	29	17	1	141	0	2	1	318	26	12.2
11月	110	20	13	0	160	0	2	1	306	24	12.8
12月	120	12	7	0	110	0	1	0	250	24	10.4
1月	28	8	5	0	42	0	1	0	84	23	3.7
2月	88	5	2	0	101	0	3	0	199	22	9
3月	85	9	9	0	148	0	2	0	253	26	9.7
合計	676	141	84	2	931	0	12	2	1848	293	6.3

## 2 学童クラブ事業

### (1) 館所全体の登録児童数・出席児童数

	月初登録 児童数	延べ出席児童数							実施日数	1日平均 出席児童数	月~金曜日平均		土曜日平均
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計					
4月	77	372	349	170	214	15	17	1137	25	45.5	53	6.3	
5月	77	330	336	150	160	5	12	993	23	43.2	52.8	8.6	
6月	77	411	429	197	191	10	14	1252	26	48.2	53.7	17.5	
7月	79	355	346	158	182	12	7	1060	25	42.4	49.3	15	
8月	79	287	355	137	185	17	12	993	25	39.7	45.8	8	
9月	74	263	343	119	130	8	16	879	24	36.6	42	10	
10月	74	334	358	126	114	13	11	956	26	36.8	40.6	20.8	
11月	74	310	341	112	106	7	0	876	24	36.5	40.9	14.5	
12月	74	316	375	122	117	10	0	940	24	39.2	41.9	25.8	
1月	74	143	175	43	67	4	6	438	23	19	21.7	6.3	
2月	72	122	200	42	53	0	0	417	22	19	21.9	5.8	
3月	70	300	342	74	126	12	16	870	26	33.5	36.7	15.5	
合計		3543	3949	1450	1645	113	111	10811	293	36.9			

※2クラス以上の館所については、クラスごとの登録児童数・出席児童数を様式6-2に記入して下さい。

年間総利用者数

児童館事業(A)+学童クラブ事業(C)

A+C
12659 人

## 年間利用状況報告書

令和3（2021）年度

（ 05 上京 ） 児童館・学童保育所

### 2 学童クラブ事業

#### （2）クラスごとの登録児童数・出席児童数

クラス名 上京A

	月初登録 児童数	延べ出席児童数						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
4月	42	213	168	84	121	0	0	586
5月	42	194	174	83	96	0	0	547
6月	42	234	221	103	111	0	0	669
7月	42	213	164	75	96	0	0	548
8月	41	181	147	67	100	0	0	495
9月	38	166	132	61	68	0	0	427
10月	38	206	153	56	70	0	0	485
11月	38	195	156	53	69	0	0	473
12月	38	191	178	60	74	0	0	503
1月	37	88	70	20	38	0	0	216
2月	37	81	87	25	37	0	0	230
3月	36	186	162	38	82	0	0	468
合計		2148	1812	725	962	0	0	5647

クラス名 上京B

	月初登録 児童数	延べ出席児童数						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
4月	35	159	181	86	93	15	17	551
5月	35	136	162	67	64	5	12	446
6月	35	177	208	94	80	10	14	583
7月	37	142	182	83	86	12	7	512
8月	38	106	208	70	85	17	12	498
9月	36	97	211	58	62	8	16	452
10月	36	128	205	70	44	13	11	471
11月	36	115	185	59	37	7	0	403
12月	36	125	197	62	43	10	0	437
1月	37	55	105	23	29	4	6	222
2月	35	41	113	17	16	0	0	187
3月	34	114	180	36	44	12	16	402
合計		1395	2137	725	683	113	111	5164